みどりのエッセイ Vol.17

横尾 博

［ミニストップ株式会社取締役会長］

森林を元気にする五円の木づかい箸

私どもミニストップでは林野庁が推進している「木づかい運動」に賛同し、二〇〇六年六月に『五円の木づかい箸』とネーミングした割り箸の販売をスタートさせました。この箸は奈良県吉野産のヒノキの間伐材などを原料としたもので、当初は実験的に直営店の三店舗に置いていたのですが、お客様に関心を持っていただいたことで同年九月から加盟店をふくめ、全国的な販売を開始しました。ミニストップはコンビニエンスストアなので、お弁当を買っていただく方には従来どおりに無料でお箸をサービスしていますが、CO_2を吸収する健全な日本の森林づくりのためのお手伝いができればという想いが今回の取組みにつながりました。現在は約一、一〇〇店舗でお弁当のケースの横に『木づかい箸』を置いて、希望するお客様に五円で買っていただいていますが、女子高校生を中心に若い方たちの反応が高いですね。通常の割り箸と国産材を使った割り箸とでは手触りが違うという意見が多く、リピーターも増えてきています。もうひとつ〝どこでもマイ箸セット〟の販売にも力を入れています。一人でも多くの方に木づかい運動に参加していただけるよう、国産材にこだわり、三重県速水林業の〝尾鷲ヒノキ〟を使用した箸袋付きの商品です。六月の環境月間にキティちゃんの箸袋に入れたマイ箸を限定販売したところ、大好評でした。

私自身は京都に生まれ、里山的な風景と植林木の美しさの両方を身近に感じながら育ちました。現在は残念ながら、木のある暮らしとは遠ざかっていますが、北海道に旅行したときに購入した木彫りのフクロウを大切にしています。毎日、触ると家族が健康で楽しく暮らせるという言い伝えがある工芸品で、今では触れるのが習慣になっているんです。木の手触りや匂いに癒されるんですね。ヒノキを使った箸にリピーターが増えているのもそうなのかもしれませんが、あまり堅苦しく考えずに、木を生活の中で身近に感じることが今後の取組のヒントになると考え、美しい森林づくりに貢献していきたいと思っています。

〈プロフィール〉
横尾 博（よこお ひろし）
昭和25年12月27日生まれ。京都府出身。昭和49年にジャスコ株式会社に入社し、昭和60年にコンビニエンスストア、ミニストップ株式会社のストアアドバイザー部長に。平成12年に同社の代表取締役社長に就任し、平成19年にはイオン株式会社戦略的小型店EC議長を兼任。平成20年にはオリジン東秀株式会社会長に。現在はイオン株式会社 執行役 戦略的小型店事業最高経営責任者、ミニストップ株式会社取締役会長、オリジン東秀株式会社取締役会長、イオントップバリュ株式会社監査役を兼任。